

クリティカルケア看護特論Ⅱ

更新日：2021/03/09 10:19:49

開講年度	2021	学期	前期	シバースト [®]	85020		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	850200
担当教員							
学部/学科	大学院 修士課程 CNSコース クリティカルケア看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

クリティカルケアを必要とする患者の生活行動や機能回復状況を把握し、高度な看護実践を導くための、主要系統別・状況別フィジカルアセスメントができる

到達目標

1	複雑かつ急激に変化する患者の状況をアセスメントする目的について理解する。
2	クリティカルケアにおける主要系統別・状況別フィジカルアセスメントの内容と方法について理解する。
3	1. 複雑かつ急激に変化する患者の状況をアセスメントする目的について理解する。
4	事例を通して、患者の生活行動や機能回復状況を判断し、高度な看護実践を見出すことができる。

DPとの関連

DP6 (CNS) ◎

DP7 (CNS) ○

授業計画

1	クリティカルケアにおけるフィジカルアセスメントとは 【授業内容】 【授業方法】 講義 【担当】
2	脳神経系の基礎知識 【授業内容】 構造/機能、障害、脳虚血、CBF/ CPP 【授業方法】 講義 【担当】
3	脳神経系のフィジカルアセスメントの実際 【授業内容】 意識状態、運動機能/反射、瞳孔の評価、バイタルサインの変化、髄膜刺激症状 【授業方法】 講義 【担当】
4	呼吸器系の基礎知識 【授業内容】 構造、呼吸調節、ガス交換、換気力学、血流均衡、肺内シャント 【授業方法】 講義 【担当】
5	呼吸器系のフィジカルアセスメントの実際 【授業内容】 呼吸音、モニタリング（血液ガス分析、EtCO ₂ 、人工呼吸器グラフィックモニター） 【授業方法】 講義 【担当】
6	循環器系の基礎知識 【授業内容】 構造/機能、刺激伝導系の異常 【授業方法】 講義 【担当】
7	循環器系のフィジカルアセスメントの実際 【授業内容】 心音、モニタリング（心電図、動脈圧、フロートラック、中心静脈圧、肺動脈圧） 【授業方法】 講義 【担当】
8	代謝系の基礎知識 【授業内容】 糖・蛋白質・脂質・ビリルビン代謝、ビタミン貯蔵、ホルモン作用 【授業方法】 講義 【担当】
9	代謝系のフィジカルアセスメントの実際、機能の評価、栄養状態の評価 【授業内容】 【授業方法】 【担当】
10	外傷患者の基礎知識 【授業内容】 診断と治療について、ショックの病態 【授業方法】 講義 【担当】

11	外傷患者のフィジカルアセスメントの実際、 【授業内容】 傷患者のPrimary Survey 【授業方法】 講義 【担当】
12	Common Disease のフィジカルアセスメント（発熱、頭痛、胸痛、腹痛）の実際 【授業内容】 【授業方法】 講義 【担当】
13	事例演習① 【授業内容】 脳出血 【授業方法】 講義 【担当】
14	事例演習② 【授業内容】 ACSによる心不全 【授業方法】 講義 【担当】
15	事例演習③ 【授業内容】 ARDS 【授業方法】 講義 【担当】

学習方法

クリティカルケア特有の状況を、シミュレーター等を活用し学習する。

オフィスアワー

テキスト

Lynn S. Bickley : Bates' Guide to Physical Examination and History Taking (11th) Philadelphia.
Lippincott Williams & Wilkins.2013 : 福井次矢, 井部俊子, 山内豊明日本語版監修, ベイツ診察法 第2版. 東京, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2015.

参考文献

David L. Simel, Drummond Rennie : JAMA evidence The Rational Clinical Examination Evidence-Based Clinical Diagnosis. 2008 : 竹本毅訳 : JAMA 版 論理的診察の技術 エビデンスに基づく診断のノウハウ. 東京, 日経BP社, 2010.

評価方法

授業・討議への参加度（50%）、学習への取り組み・プレゼンテーション（50%）